

11/23 第32回那覇市障がい者運動会

障がいのあるみなさんの心身の保持増進を図るとともに、交流の輪を拡げる「那覇市障がい者運動会」が奥武山公園サブグラウンドで開催されました。

開会式では、荻堂朗子(さえこ)さんと前城守政さんによって選手宣誓が行われ、パン食い競争や玉入れ、混合リレー、風船割りなどの競技で熱戦を繰り広げ、会場を盛り上げました。

参加者の村松あすかさんは「普段なかなか外に出る機会が無いのでこの運動会を通していろんな人たちと交流できて嬉しいです」と笑顔で話してくれました。



11/26 道路ボランティア協定書調印式

協働による道路の清掃、美化活動を行う道路ボランティア団体4社と「道路ボランティア協定書調印式」が行われました。協定を交わしたのは「富士電機株式会社沖縄支社」「開南っ子 お花でいっぱい GMC(グランドマザークラブ)」「有限会社 中央環境サービス公社」「有限会社 スタプランニング」の4団体です。

有限会社スタプランニングの赤嶺剛代表取締役は「地域に住む人たちが声を掛け合いながら、一步一步、地域を花でいっぱいにできればと考えています」と意気込みを語りました。



11/28 中心市街地活性化「市民ワークショップ」開催中

市では中心市街地活性化に向け、市民のニーズやアイデアを「中心市街地活性化基本計画」に反映するため、市民ワークショップ(全5回)を開催しています。

11月28日に行われた2回目のワークショップでは、中心市街地の弱みや強みを把握し、問題点や課題について議論されました。「知らないと不便、知っていると便利」「魅力的であれば有料駐車場を利用する」など、活発な議論が展開されました。ワークショップは2月20日を最後に計画案がまとめられる予定です。



12/1 大同火災海上保険株式会社 25回目の「車いす贈呈式」

大同火災海上保険株式会社は平成2年から社会貢献活動として、県内各自治体および団体へ車いすを寄贈しています。本市へは今年で25回目、2台が贈呈され合計106台となりました。

上岡優代表取締役社長は「高齢化社会を迎え、車いすは市町村や各団体からのニーズも高く、多くの方に活用していただきたいと思います」とあいさつしました。今回寄贈いただいた車いす2台のうち、1台は子ども用。学校や福祉、観光施設などで活用する予定です。



12/7 太陽と海とジョガーの祭典「第30回 NAHAマラソン」開催!

12月7日、「第30回NAHAMARASON」が開催されました。スターの具志堅用高さんと城間市長と一緒に万国津梁の鐘を鳴らしスタートを合図すると、2万6905人のジョガーが一斉に駆け出しました。

暑い日差しが照りつける中、沿道の家族や友人の応援やボランティアの差し入れなど声援に後押しされて、2万29人が6時間15分の制限時間内に見事完走。男子は招待選手として出場した川内優輝選手(埼玉県)がこれまでの大会記録を9分以上も縮め、2時間13分43秒で優勝、女子は廣瀬光子選手(東京都)が見事三連覇を果たしました。



1万人目の入場者・小林幸雄さん
(右から2番目)

12/16 那覇市立壺屋焼物博物館「沖縄宗教藝術の精華 厨子」来館一万人突破!

11月1日より開催された壺屋焼物博物館特別展の入場者が1万人を突破しました。

記念すべき1万人目は、東京在住の小林幸雄さん(83歳)。「記念品を頂戴し、ありがとうございます。彼岸にわたるのも近くなったので、骨壺と聞き博物館を見学にきましたが、琉球の厨子の立派さに感動しました。」と感想を話しました。

「厨子」として知られる沖縄の蔵骨器は、洗骨という風習を取り入れて以来、東アジアの中でも独特の発展を遂げました。

※「沖縄宗教藝術の精華 厨子」特別展は12月21日で終了しました。

12/13 「なは市民協働大学 卒業式」及び「那覇市協働大使 委嘱式」

「なは市民協働大学 卒業式」ならびに「那覇市協働大使 委嘱式」が那覇市職員厚生会ホールで行われました。卒業式では29人の方が認定を受け、卒業生を代表して備瀬知晶(びせ ともあき)さんは「みなさんとのつながりをこれからも大切にしていきたいです」と感想を述べました。

また、新たに22の個人や団体が協働大使として委嘱され、今回は、「ぱっぱ青空協働隊」の青空しずか、くらら、つばさ、ジュラーレの4頭の馬も委嘱を受けました。ふれあい体験乗馬を通して、地域のみなさんに癒しとぬくもりを届けた活動が、委嘱理由となりました。

